

(議案第2号)

平成30年度事業計画(案)

平成30.5.1～31.4.30

1 事業方針

本協会は、「一般社団法人」に移行してから既に5年経ました。社会情勢の変遷に伴う厳しい環境の中、本協会の健全な発展を目指し、時代に即応した会員企業の資質向上と会員のより専門的な能力を研鑽することを重点目標といたしています。

また、平成27年9月には、会員皆様のご苦勞されている公共建築物の維持管理等の入札に関し自民党へ要望書を提出し、政調部会において説明をいたしたところです。今年度は前年度に引き続き更にこの要望が実現するよう行動していきたいと思っています。

本年度は厚生労働省から認可を受けた「貯水槽清掃作業従事者研修」も5年目に入りより充実した研修が求められています。

今後とも研修に力点を置き、特に「作業従事者研修」について徹底するよう国、県からの通知があまりました。加えて身近な課題を捉えた研修会を開催し、会員相互の交流を深め、魅力ある職場づくりにも取り組み、更なる会員のスキルアップを目指していきます。今年度も全会員がいずれかの委員会に所属する委員会活動を中心に、事業を進めていきたいと思ひます会員各位の一層のご協力をお願いいたします。

2 事業内容

(1) 委員会活動

委員会名	研修及び事業内容
総務委員会	<ul style="list-style-type: none">・社会奉仕活動の実施(松川べり彫刻公園、古城公園清掃活動)・労働安全大会の開催・労働安全パトロールの実施・優良従業員表彰の実施
経営対策委員会	<ul style="list-style-type: none">・労災保険収支改善推進協議会・各研修会の講師の選定、育成等
清掃管理委員会	<ul style="list-style-type: none">・清掃作業従事者研修(指導者講習)会の開催・ビルクリーニング実技訓練講座の実施
衛生管理委員会	<ul style="list-style-type: none">・研修会の開催・ねずみ防除作業従事者研修会への参加
設備保全委員会	<ul style="list-style-type: none">・研修会の開催・「貯水槽清掃作業従事者研修会」の開催
厚生委員会	<ul style="list-style-type: none">・一泊研修会の開催・ボウリング大会の開催
広報委員会	<ul style="list-style-type: none">・ホームページによる当協会実施事業のPR・主催研修会の一般参加希望者へのPR活動

- (2) 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会が実施する事業への参加・協力
- (3) 各種関連団体との連携協力
- (4) その他
 - ・ 北陸3県BM連絡会及び経営者研修会の参加
 - ・ 中部北陸地区本部会議への出席
 - ・ 全国ビルメンテナンス協会会議への出席
 - ・ 関連事業の調査研究

委員会活動の概要

(1) 総務委員会

協会が常に円滑に発展するよう、総括的に会務の企画・運営を行い労働安全大会や、労働安全パトロールなどを実施し、従事者が健康で安心して働ける職場環境に努めると共に優良従業員表彰を行ないモラルの向上に努め、また清掃奉仕活動（松川べり彫刻公園、高岡古城公園等）を行い地域に貢献する。

(2) 経営対策委員会

業界と会員企業が抱えるさまざまな課題及び時流にあった課題を的確に捉え会員企業への情報提供を行う。

そのため、北陸3県BM経営者研修に積極的に参加をし、災害時における応援体制等3県協会が抱える具体的な課題解決に努力する。

(3) 清掃管理委員会

清掃業務など関連業務に関する知識、技能、情報などの研修・研究、またビルクリーニング技能士資格取得を目指す従事者の技術向上を援助するための講座の開設や、清掃作業従事者研修会を開催するなど、会員の資質や業務の向上を図る。

(4) 衛生管理委員会

PCO業務及び関連業務に関する知識、技能、情報等の研究会の開催並びに諸法規等の研修会を開催し、会員の啓発を促し、資質・品質の向上を図る。

(5) 設備保全委員会

設備、貯水槽業務及び関連業務に関する知識、技能、情報等の研修・研究会の開催並びに諸法規等の研修会を開催し、会員の啓発を促し、資質業務品質の向上を図る。

(6) 厚生委員会

会員間の親睦を深める中で、会員相互の理解と協調性を図り、協会の発展の基礎をさらに強めるため一泊研修会、ボウリング大会等の活動を行う。

(7) 広報委員会

協会の事業及び会員企業の業務内容等を効果的に広報するとともに、協会員の知識、技術、人脈、情報を共有化するためホームページを充実し、更に広く県民に協会の認識度を高めるとともに、当協会主催研修会への一般参加の途を拓く。

また、明るく分かりやすい協会づくりを目指し、協会の地位向上に努める。